

スローガン

“協走”

多様ななかま達と協力し合い働きがいある職場と
よりよい社会の実現に向け走り続けよう!



1. 働く

(1) 働きやすく魅力ある職場の実現に向けた労働条件と職場環境の改善

1) 安全安心に働ける職場環境の構築

支部集会で集約した意見を基に支部執行委員会で課題精査を行い、職場環境改善に取り組みます。

①事業所労使協議会を通じた改善を進めるとともに、支部で解決できない課題は各級労使協議会で取り扱い、職場環境改善に取り組みます。

②安全衛生委員会にて「健康増進対策・労災防止・長時間労働の削減」の対話と対策を進めます。

2) 労使一体で目標達成できる取り組み

①14期に実施した働き方アンケートの結果に基づき、職場環境改善に向け労使一体で取り組みます。

②働きがいがある職場を目指して、南関東グループの課題に基づき、統一労働条件交渉に取り組みます。

(2) 経営参画・生産性向上の実現

1) 労使で政策実現に向けた心合わせの機会を作り、組合員全員が経営参画できる取り組みを実現します。

2) 生産性向上に向けて、職場におけるムリ・ムダ・ムラを集約し、作業・業務改善提案に繋げると共に、DXの施策を職場に浸透させる取り組みを実施します。

3) 各事業所で私たちの商品を知る機会を作り、企業ロイヤリティ向上に労使で取り組みます。

2. 暮らす・生きる

(1) 社会貢献活動の推進とボランティアマインドの醸成

1) イオンハートフル・ボランティアなど、地域に寄り添うボランティア活動に、より多くの組合員が参

画できるよう、各地域で活動を推進します。上部団体の社会貢献活動にも積極的に参画します。

2) 地域の理解を深め、地域と共に問題解決を推進するため、地域交流プログラムを実施します。

(2) 組合員が学び体験できる機会の実現

1) 他企業や他労組から学ぶ機会として国内外の流通視察セミナーを実施します。

2) 災害に備え、防災について学ぶ機会をつくります。

3) UAゼンセン共済の認知向上および加入促進

①UAゼンセン共済勉強会を組合員対象に実施し、加入促進活動をグループ全体で取り組みます。

②LINEや壁新聞など広報活動を通じて共済のメリットを組合員へ周知します。

(3) 社会とのかかわりの日常化と産業・地域の課題解決に向けた活動の構築

1) 2025年施行の第27回参議院議員選挙における、組織内候補予定者ならびに推薦候補者の必勝に向けて、組織の総力を結集し取り組みます。

2) パートナー議員と連携し国会・各議会見学・意見交換など日常的な政策推進活動を推進します。

3) 夢未来の会・イオンクラブなどの関係諸団体と連携し、政策実現に向けた活動に取り組みます。

3. 組織基盤

(1) 組織基盤である組合役員体制と組織運営の確立

1) 組合役員体制

①支部の特性に合わせた役員を配置し、職場に組合がある組織体制を構築します。

②グループ執行委員会・ゾーン運営委員会の全員出席を目指し役員どうしのつながりを深め、支部のサポートを行います。

③組合活動を通じて次世代役員の発掘・育成にグループ一体で取り組みます。

2) 職場を起点にした課題解決サイクルを実施

①職場集会・支部執行委員会・事業所労使協議会を起点に職場の課題解決に取り組みます。

②支部の組織運営をグループ・ゾーンで「支部カルテ」を活用しサポートします。

③グループ執行委員会・ゾーン運営委員会で①②を確認し、好事例の共有を行います。

(2) 一体感のある組合組織の醸成

支部・ゾーンを超えたネットワークづくりを実施し、組合員の参加・関与度を高めます。

1) ライフスタイルや年代、地域などの切り口で交流の機会を事業広報委員会とゾングループが連携して取り組みます。

2) 支部・ゾーンの活動を通じて組合員同士が継続してつながる機会をサポートします。

3) 組合員同士が余暇活動を通じてつながる機会として「FunActCLUB」活動を推進します。

(3) 組織を支える教育・広報・内部統制の強化

1) 教育

①組合役員の役割に応じた教育と育成を教育委員会とグループ・ゾーンが連携して取り組みます。

②組合役員の視野拡大や成長の機会として、上部団体活動へ戦略的に派遣します。

2) 広報

①LINEを活用し、組合員へタイムリーに情報を発信します。

②より支部に近い広報を目指し、事業広報委員会にてワーカーズクリップの企画・制作を行います。

3) 内部統制

①予算執行状況について四半期に一度グループ執行委員会・ゾーン運営委員会で共有します。

②円滑な会計業務に向けてグループ監査・ゾーン会計・グループ書記による会計会議を実施します。

③支部・ゾーンの活動の円滑化に向け、精算システムの導入、オンライン会議の活用や会計勉強会を実施します。

④災害発生時におけるグループの対応を確認する機会を設け、労使で連携します。

4) 内部監査による業務改善

リスク監査項目を組合役員と共有し、目標達成への計画を立案・実行します。